

商品名 トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サワイ」 医薬品基本情報

薬効	6241 ピリドンカルボン酸系製剤	一般名	トスフロキサシントシル酸塩水和物錠
英名	Tosufloxacin tosilate	剤型	錠
薬価	37.80	規格	75mg 1錠
メーカー	沢井製薬	毒劇区分	

トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サワイ」の効能・効果

慢性膿皮症、リンパ管炎、リンパ節炎、ざ瘡<化膿性炎症を伴うもの>、深在性皮膚感染症、表在性皮膚感染症、(外傷、熱傷、手術創)の二次感染、咽頭炎、関節炎、急性気管支炎、喉頭炎、肛門周囲膿瘍、骨髄炎、乳腺炎、肺炎、扁桃周囲膿瘍、扁桃炎、慢性呼吸器病変の二次感染、外耳炎、顎炎、化膿性唾液腺炎、子宮内感染、コレラ、歯冠周囲炎、子宮付属器炎、歯周組織炎、腎盂腎炎、胆管炎、炭疽、胆嚢炎、中耳炎、腸チフス、尿道炎、麦粒腫、パラチフス、バルトリン腺炎、副睾丸炎、副鼻腔炎、膀胱炎、瞼板腺炎、涙嚢炎、感染性腸炎、精巣上体炎、前立腺炎<急性症>、前立腺炎<慢性症>

トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サワイ」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. <コレラ>妊婦又は妊娠している可能性、<炭疽>妊婦又は妊娠している可能性	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	相対禁止
3. 高度腎障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
4. 痙攣性疾患又はその既往、てんかん又はその既往、重症筋無力症、大動脈瘤の家族歴、大動脈解離の家族歴、大動脈瘤又はその既往、大動脈解離又はその既往、マルファン症候群、大動脈解離のリスク因子を有する、大動脈瘤のリスク因子を有する	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サワイ」の副作用等

1. 臨床検査値異常変動	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明

2. 無顆粒球症、血小板減少、発熱、咽頭痛、皮下出血、粘膜出血	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. ショック、アナフィラキシー、呼吸困難、浮腫、発赤、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、痙攣、意識障害、意識喪失、急性腎障害、間質性腎炎、腎性尿崩症、重篤な腎障害、肝機能障害、黄疸、偽膜性大腸炎、血便、重篤な大腸炎、腹痛、頻回の下痢、発熱、咳嗽、胸部X線異常、好酸球増多、間質性肺炎、好酸球性肺炎、急激な腎機能悪化、横紋筋融解症、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、低血糖、大動脈瘤、大動脈解離、末梢神経障害、しびれ、筋力低下、痛み、アキレス腱炎、腱断裂、腱障害、腱周辺の痛み、幻覚、せん妄、精神症状、重症筋無力症悪化	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
4. 過敏症、光線過敏症、クレアチニン上昇、白血球減少、好酸球増多、血小板減少、貧血、幻覚、関節痛、味覚異常	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
5. 発疹、胃部不快感、腹部不快感、悪心、下痢、軟便、胃痛、腹痛	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. そう痒感、蕁麻疹、発熱、BUN上昇、血尿、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、LDH上昇、γ-GTP上昇、ビリルビン上昇、嘔吐、腹部膨満感、食欲不振、便秘、口内炎、口渇、舌炎、頭痛、めまい、しびれ、不眠、振戦、倦怠感	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
7. 急性腎障害、間質性腎炎、腎性尿崩症、重篤な腎障害、肝機能障害、黄疸	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 大動脈瘤、大動脈解離、副作用、臨床検査値異常変動、腱障害、関節異常、上腕骨近位端軟骨に微小水疱、上腕骨近位端軟骨にびらん	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

トスフロキサシントシル酸塩錠75mg「サワイ」の相互作用

1. 薬剤名等：副腎皮質ホルモン剤	発現事象	腱障害のリスクが増大	投与条件	-
	理由・原因	-	指示	相対禁止
2. 薬剤名等：テオフィリン	発現事象	最高血中濃度は併用3日目では1.13倍・5日目では1.23倍の上昇、中毒症状<消化器障害・頭痛・不整脈・痙攣等>	投与条件	テオフィリン1日400mgと本剤1日450mgを併用
	理由・原因	テオフィリンの肝での代謝を抑制し、血中濃度を上昇	指示	注意
3. 薬剤名等：アミノフィリン水和物				

発現事象	最高血中濃度は併用3日目で1.13倍・5日目では1.23倍の上昇、中毒症状＜消化器障害・頭痛・不整脈・痙攣等＞	投与条件	テオフィリン1日400mgと本剤1日450mgを併用
理由・原因	テオフィリンの肝での代謝を抑制し、血中濃度を上昇	指示	注意

4. 薬剤名等：フェニル酢酸系非ステロイド性消炎鎮痛剤

発現事象	痙攣	投与条件	-
理由・原因	中枢神経におけるGABAA受容体への結合阻害作用が非ステロイド性消炎鎮痛剤により増強	指示	注意

5. 薬剤名等：プロピオン酸系非ステロイド性消炎鎮痛剤

発現事象	痙攣	投与条件	-
理由・原因	中枢神経におけるGABAA受容体への結合阻害作用が非ステロイド性消炎鎮痛剤により増強	指示	注意

6. 薬剤名等：アルミニウム含有の制酸剤

発現事象	本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	金属カチオンと難溶性の錯塩を形成し、本剤の消化管からの吸収が低下	指示	注意

7. 薬剤名等：マグネシウム含有の制酸剤

発現事象	本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	金属カチオンと難溶性の錯塩を形成し、本剤の消化管からの吸収が低下	指示	注意

8. 薬剤名等：鉄剤

発現事象	本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	金属カチオンと難溶性の錯塩を形成し、本剤の消化管からの吸収が低下	指示	注意

9. 薬剤名等：カルシウム含有製剤

発現事象	本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	金属カチオンと難溶性の錯塩を形成し、本剤の消化管からの吸収が低下	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.